# いわて復興だより

がんばろう！岩手　つながろう！岩手

三陸復興

第 66 号

平成 26 年 7 月 1 日号

## 復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げ、この「つながり」を大切にしていきたいと思います。

梅雨で雨の日が多い今日この頃ですが、復興に向けて歩み続ける岩手の明るい今を紹介します。

## 三陸の魅力発信！三陸のものマルシェ開催　秋葉原

平成 26 年 6 月 19 日（木）～6 月 21 日（土）の期間で、東京の秋葉原駅で、ＪＲ東日本主催の三陸産の物品を販売するイベント『第２回　三陸のものマルシェ』が開催されました。岩手県・久慈市、宮城県・石巻市、青森県・八戸市の商品が主に紹介されており、ご当地キャラクター「アマリン（久慈市）」や「あまくらぶ」なども登場し、イベントを盛り上げました。

岩手県内からは、花巻農業高校食農科学科食育研究班の生徒も授業の一環として販売に参加。地元企業「( 有 ) カスイ」と共同で開発した『さんまーぐ』などの販売を行いました。『さんまーぐ』は、三陸産のさんまと花巻農業高校で製造した豆腐・おから・みそ・清涼飲料「ハピー」を使用した塩分と脂質を抑えたヘルシーなハンバーグです。同校の小澤弥生先生は、「被災地を支援したいという生徒の思いが形になって嬉しい」とイベント参加への喜びを語ってくれました。

「さんまーぐ」イメージ

生徒の熱心な売り込みもあり、売れ行きは好調で、準備した販売物は全て完売！『さんまーぐ』は、３日間で販売目標の 450 個を売り切りました。

「さんまーぐ」の説明をする花巻農業高校の生徒

「さけ焼売」（左側）と「さんまーぐ」（右側）

岩手県関連ブース「あまくらぶ」久慈東高校の生徒

久慈市のキャラクター「アマリン」も登場（左）
BRT 沿線復興キャラクター「おっぽくん」（右）

## <<< 本格復興を担う任期付職員募集！ >>>

詳しくは　岩手県職員募集案内　検索

岩手県では、県の機関（本庁・出先機関）及び沿岸市町村で、復興事業や当面の地域課題等への対応業務に従事する任期付職員を募集しています。

未来の岩手県を、職員として一緒に作っていただける多くの方の応募をお待ちしております。

一般事務　〔申込期間〕平成 26 年 7 月 29 日（火）～8 月 29 日（金）〔一次試験〕平成 26 年 9 月 21 日（日）
総合土木　〔申込期間〕平成 26 年 6 月 2 日（月）～7 月 18 日（金）〔一次試験〕書類選考

【任用期間（予定）】平成 27 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで（3 年間）

| 職種区分 | 採用予定人員 | 主な勤務先 | 主な職務内容 |
|---|---|---|---|
| 一般事務 | ３５人程度 | 県の機関に配属される場合<br>出先機関（広域振興局等）又は本庁 | ・復旧、復興に係る補助事業等に関する業務<br>・許認可、その他一般事務 |
| | | 市町村に派遣される場合<br>宮古市、大船渡市、大槌町、山田町、野田村の５市町村 | ・窓口業務、国民健康保険、生活再建相談、税務、公営住宅、用地取得・補償、その他一般事務 |
| 総合土木 | ２４人程度 | 県の機関に配属される場合<br>主に沿岸地区の出先機関（広域振興局等）又は本庁 | ・公共土木施設（防潮堤、港湾、漁港、漁場、道路、河川、水道等）の災害復旧工事等に係る設計、積算、発注、工事監督等 |
| | | 市町村に派遣される場合<br>宮古市、大船渡市、大槌町、田野畑村、野田村の５市町村 | ・公共土木施設等（道路、上下水道、漁港等）の復旧に係る設計、積算、発注、工事監督等 |

e! いわて　いわてつながり情報局

「e! いわて（いわてつながり情報局）」は、復興に関連する岩手のニュースや情報を知ることのできるアプリです。
入手した情報は Twitter や Facebook に投稿しシェアすることができます。
以下の OS を搭載したスマートフォンでご利用いただけます。
・Android OS4.0 以降、iOS6.0 以降

詳しくは　いわてつながり情報局　検索

# 6/16 (月) 小本中学校生徒「小・中新校舎」着工祝い舞う！

岩泉町

6月16日（月）、岩泉町立小本小学校、小本中学校の移転復旧工事の安全祈願祭および起工式が、同町小本字南中野地内で行われ、関係者約80人が工事の安全を祈りました。小本地区は、日本三大鍾乳洞のひとつ“龍泉洞”への玄関口です。

起工式には、仮設校舎で学校生活を送っている同小学校児童、同中学校生徒が参加し、新校舎の完成を願って鍬入れを行い、中学校の生徒が同地区の伝統芸能である中野七頭舞で着工を祝いました。

新校舎は、鉄筋コンクリート造り4階建てで、小・中併設校舎として建設されます。1、2階に小学校、3、4階に中学校の教室が入り、4階には防災備蓄倉庫と大震災記録室も設けます。

震災当時、両校舎とも津波にのまれましたが、幸い両校の児童・生徒とも、高台に避難し、全員が無事でした。

関係者による鍬入れ

小学生による鍬入れ

中学生による伝統芸能の披露

## 未来のさんりくびと

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。
第20回目は、茨木いずみさんを紹介します。

### PROFILE

宮崎県高千穂町出身
大学卒業後、良い教育を全国どこへでも届けたいという想いから教育関連企業に就職。
当時、若手社会人向けの勉強会で「釜援隊」のことを知り応募。2013年より「釜援隊協議会」の釜石リージョナルコーディネーターとして現在に至る。

釜石リージョナルコーディネーター
茨木 いずみ
（いばらき いずみ）さん

茨木さんからのひと言：
地域の方の釜石への思いが少しずつカタチになっていく様子をぜひ見に来て下さい！

### ハード面だけでなくソフト面での復興を

茨木さんは、大学の卒業旅行で盛岡を訪れたときに東日本大震災に遭いました。その時、様々な方の親切さに触れ、「いつか恩返しをしたい」、「もっと直接的な形で現地の人たちと関わりたい」との思いで釜援隊に応募したそうです。現在は、釜援隊のマネージメント役として、現場の隊員をサポートする立場で活躍されています。

復興について伺うと、「釜石の中心部は復興していると思いますが、鵜住居など建物が未だ建っていない箇所もあり、地域によって復興の進捗に差が出てしまっているのではないかと感じます。また、インフラの復興は、大分目処が立っていると思うのですが、コミュニティの復活、子どもに対するケア、なりわいの復旧など、ソフト面の復興というのは対応がなかなか難しく課題があると感じます。」と語ってくれました。

### これからの釜石に注目してほしい

「釜石では、地域のことを思って行動している方と出会うことが多く、今後いろいろな動きが起きてくると思っています。」と茨木さん。

グリーンツーリズムのツアーや、橋野地区での馬の文化を再生させるホーストレッキングのツアー、古民家ステイのツアー、また、産業面では“ウニまん”という新しい商品が開発されるなど、今後の釜石への期待も膨らみます。

### 岩手県の被害状況

平成26年5月31日現在

▶人的被害　死者（直接死）：4,672名　行方不明者：1,132名
▶建物被害（住家のみ、全半壊）　25,706棟

被害状況等の詳細
義援金・寄付金の募集等　いわて防災情報ポータル　検索

### 皆さんのご支援、ありがとうございます

平成26年5月31日現在

▶義援金受付状況　約181億4,013万円（89,205件）
▶寄付金受付状況　約195億6,102万円（6,833件）
▶いわての学び希望基金受付状況　約68億600万円（13,455件）

※ 被災したこどもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより Web】もご覧ください!!　http://iwate-fukkoudayori.com

いわて復興だより　第66号　平成26年7月1日号　企画・発行：岩手県復興局復興推進課　☎019-629-6925
いわて復興だよりバックナンバーは　いわて復興だより　検索
編集・印刷：シナプス